



白樺は空に向かって立つ

役員改選期ということで総会に諮ったところ吉川さんから「事務局一任」との提案があり案を提示、一同に諮ったところ「異議なし」と満場一致で承認されました。
同窓会新役員は以下の通り。



湧雲

第13号
2022年3月1日発行

発行・北海道深川西高等学校同窓会
〒074-0012 北海道深川市西町7番31号
TEL 0164-23-2263 FAX 0164-23-2264

同窓生数
17,485名

デザイン・印刷・SALAT (株)サラト
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
Tel:079-284-1380 https://salat.co.jp

第78回総会にて新会長に 轡田光章氏が選任される

2021/6/9
第78回深川西高校同窓会
定時総会

コロナ禍の中にあつて役員改選もあることから感染対策に万全を期して総会を開催した。各期より参加枠を2名とし会食は行わずに持ち帰りのお弁当に振り替えた。学校関係者は校長以下4名、同窓生は役員を含めて24名。学校関係者の紹介に引き続き学校長からの挨拶があり学校の現状を報告された。その後、議長に22期の松原氏を選任し、令和2年度の2事業報告並びに4会計報告は提案通り承認された。令和3年度の事業計画及び予算案もコロナ禍の中にあつて開催できるものは行っていくことで大まかな予算ではあります承認されました。

「同窓の夕べ」の開催については末尾「3」の期になっていますが、昨年延期になってしまいました。今年度も今後の推移を見たときに延期が望ましいとの提案が役員会の中でなされました。このことを総会に諮り承認をいただきました。

役員改選期ということで総会に諮ったところ吉川さんから「事務局一任」との提案があり案を提示、一同に諮ったところ「異議なし」と満場一致で承認されました。

顧問	校長	副会長	幹事長	副幹事長	監事	会計幹事	相談役	校内幹事	校内OB	顧問	校長	副会長	幹事長	副幹事長	監事	会計幹事	相談役	校内幹事	校内OB	顧問	
伊藤 義浩	宮川 信義	三上 貴康	吉田登美雄	木根 和美	池内 英二	館下 孝之	平 通明	青井 克典	及川 賢一	大西 道祥	溝口 光章	三上 貴康	吉田登美雄	木根 和美	池内 英二	館下 孝之	平 通明	青井 克典	及川 賢一	大西 道祥	
宗由	宮川 信義	三上 貴康	吉田登美雄	木根 和美	池内 英二	館下 孝之	平 通明	青井 克典	及川 賢一	大西 道祥	溝口 信義	三上 貴康	吉田登美雄	木根 和美	池内 英二	館下 孝之	平 通明	青井 克典	及川 賢一	大西 道祥	
	31	28	28	23	21	18	23	31	28	28	23	21	18	23	31	28	28	23	21	18	23



2020年一般会計報告

収入の部

項目	一般会計
前期繰越金	80,858
入会金	115,500
振替金	400,000
会報	0
会報コンビニ	140,360
会報郵便局	243,724
雑収入	1,000
利息	2
合計	980,444

支出の部

項目	一般会計
総会費	0
振替金	0
役員会議費	0
会議費	0
支援激励費	49,000
交際費	0
事業費	88,000
会報費	792,764
通信費	9,195
印刷費	3,185
雑費	1,320
予備費	0
次期繰越金	36,980
合計	980,444

滞留せずに即時解散となる。

コロナ禍と言ふこともあつて引き続いて轡田新会長より「大西会長の後を受けての会長就任ですので身の引き締まる思いですが同窓会の発展のために力を尽くしたいと思っております。同窓生の皆さんの一層のご協力をよろしく願ひいたします」との挨拶があり、新任の三上新幹事長より「新会長はお寺の住職で私は石材店、これも何かの縁かと感じています。今後の同窓会の運営には皆さんのご指導とご支援が欠かせませんのでよろしく願ひいたします」と抱負を語った。

大西会長から退任の挨拶があり「平成11年6月の総会で津田前会長から引き継いで11期22年の間に多くの事業をやらせていただきました。長きにわたるご支援とご協力をいただいたことに感謝し今後とも微力ながらも同窓会を応援していきたいと思ひます。長い間本当にありがとうございました。この離任の挨拶があつた。」との離任の挨拶があつた。

「同窓生の皆様へ」



深川西高等学校
同窓会会長
榎田 光章

昨年五月の総会にて、大道道祥会長の後任として、同窓会長という大役をになう事となりました。二十三期卒業の榎田でございます。先輩の皆様を始め、同窓生の皆様に御挨拶申し上げます。もとより若輩者でございますが、精一杯伝統にキズをつけぬよ

会長退任にあたり



深川西高等学校
同窓会前会長
大西 道祥

平成十一年より令和三年までの二十二年間の任を無事終える事が出来、この間の多くの先輩・後輩・学校関係者・PTAの皆様のご協力に心より感謝申し上げます。同窓会総会は今では五十人以上の各期の幹事が出席し開催することが出ていますが、平成五年ごろは同窓会役員、学校関係者合わせて十人位の総会でした。当時の滝井会長に突然「総会に出席しなさい」との事、その場で「副会長を

しなさい」と言われ同窓会活動に

う努力致します。何卒宜しく御指導下さいますようお願い申し上げます。

さて、コロナ感染の中に「同窓の夕べ」の集いも二年間中止となり、現役世代は勿論の事、教育環境の変化は先生方や、生徒の皆さんに大きな苦勞をもたらせました。様々な制約の中で、何より命の大切さを感じながら、個人個人が不安の中にも感染防止に努力をして来た事です。「忍耐」という事が大事な時間とは知りつつも、つい甘えてしまふ事があるかもしれせん。しかしいつまでも暗闇ではなく、夜の次には朝日が昇る事を信じて現役世代には自己研鑽に努力

引き込まれていきました。滝井会長の不幸があり津田会長になるも「学校林の名義は君にしなさい」「旭川、滝川支部の例会には必ず出席すること」との事でした。平成十年に開校六十周年記念式典が無事終了すると津田会長が「今度、会長をしなさい」との事。今思えば私を会長にするための準備だったようです。何も解らず先輩達の命令通り動かされたようです。

コロナ禍で二回も中止になりましたが、同窓生が一堂に会して旧交を温め合う「同窓の夕べ」は二十三回継続開催する事が出ています。何とか今年はコロナも終息し、楽しく開催出来ればと思っています。

校庭の樹木・学校林の管理・卒業記念植樹は岡部誠二氏（七期）坪田邦光氏（二十三期）を中心とした緑の学び舎運営委員会が精

して欲しいと願うばかりです。

人口減少と地域の子どもの減少傾向の中、各地で学校統合や閉校など学校を取り巻く環境は大変厳しい現実ですが、深川市長・教育委員会を始め、西校・東校両校の存続の為に校長先生を先頭に教職員の皆さんの努力により学業は勿論、クラブ活動の活躍にも立派な結果を残しています。

微力ながらも同窓会として、未来に夢と希望を持って学校を卒業していきけるよう力添えが出来ればと思います。何卒同窓会員皆様の今後の絶大なる母校へのお力添えをお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

的に活動して下さっています。同窓会会報は私が会長になった時から溝口副会長の手によってコピー機で十号、印刷で十三号まで発行され同窓会の情報を発信し同窓生から大変喜ばれています。これら種々の同窓会活動に対し平成二十一年から宮脇 敬氏（四期）より毎年多額の寄附があり宮脇基金として浄財を有効活用する事に努力しております。心より感謝申し上げます。

私が会長を引き受けている間の活動はほとんど溝口副会長が幹事長時代に計画・実行されて来たものであり、彼が居なければ何一つ実現出来ていませんでした。大変感謝しております。後輩も充

分育っています。榎田会長の指導の下で益々同窓会は発展いたしました。今後ともよろしくご指導をお願い申し上げます。（祈）

第12回卒業記念植樹報告

2021/10/9

参加者

- 間 義浩校長 伊藤崇由教頭
- 教師・加納浩則 大久保博史
- 1組・板垣海澄 加納優樹
- 堂前健斗 青山ひより
- 志村陽菜乃
- 2組・茂野照也 田中 隆
- 3組・大河原友幸 小嶋彬斗
- 渡辺歩陸

委員会

- 榎田会長、坪田委員長、堀川副委員長、寺前 未松、妻神、石川（幸）、東、石川（雅）、村中、竹林、山田、藤井、溝口 調査委員・青井克典

暖かく風もなく気持ちの良い快晴の朝を迎えた。卒業記念植樹は毎年ほぼ同じ日程で行われている。すでに落葉が始まっている年もあれば、今年の様に温暖化のせいかわらぬ真つ盛りには少々早く、緑の色濃く残る山道を現地に向かうのだが、景色と裏腹に一ヶ月ほど前の集中豪雨で道路は無残にえぐられ、それによってできた雨裂の荒れた道をのろのろと左右に揺られながら進まねばならなかった。会場に着いたバスから下りてきた生徒を委員が総出でお迎えし、持参したお弁当を配って石碑前で食事。外とはいえ石の椅子やプラスチックの椅子に座布団を敷いて社会的距離をとりながら楽しいお食事を済ませる。

今年五月に就任した榎田同窓会長に初参加して戴いたので会長に挨拶をして戴き、坪田委員長が植樹の説明や作業手順を説明し、二本のキタコブシを二手にわかれて植えた。準備万端の下準備での植え穴へ苗木を取め土を寄せ十分冠水したのでしっかりと根付きそう。今回で

十二枚目となる記念の看板「キタコブシ」を固定し、それを中心にして記念集合写真を写した。過去の植樹の間を通りぬけ駐車中のバスに乗り込み沖里河山頂上へ向かう。快晴の頂上から北空知を遠望、学校を確認したり、目立った建物を探していた。楽しいことはあつという間に過ぎていく。楽しい思いを頂上に残して下山。無事記念植樹は終了。数日経過した今年の紅葉はそうそう体験できることではない位、山も里も実にきれいな状態。数十年前後に生徒達が覚えていてくれるかどうか多少不安はあるが記憶に留めておいてくれると嬉しい。



今まで生徒たちの様子の紹介は同窓会報と言う事もあってそれほど多くは掲載してこなかったのですがコロナ禍の中にあっても可能な限り活動していた事をお知らせしておきたい。

2021.04.27～28
1年生がネイバル深川で宿泊研修



宿泊研修

は爽やかな歌声を披露しました。最後の全校コーラス『大切なもの』の合唱は、深西生が歌声と心を一つにする貴重な体験となりました。この取り組みを通して、生徒会執行部の成長、クラスの団結力の向上に着実につながると同時に、コロナ禍での高校時代の思い出の1ページを飾ることができました。鑑賞を楽しみながらしていた保護者の方々には、無観客の対応でご協力いただきました。

2021.06.10～11 第72回学校祭
祭が「道開ける」この時代に僕らの青春」をテーマに2年ぶりに実施されました。4月以降、新型コロナウイルス感染症状況により様々な制約がかかる中、何度も実施要項の変更を余儀なくされ、その度に執行部が粘り強く要項を練り直し、話し合いを繰り返しながら多くの壁を乗り越えて、今年の学校祭実施にこぎつけました。

2021.05.13 第64回コーラス大会
深川市文化交流ホール「み・らい」において、「クラスメイトと目標や時間を共有することで、クラスの交流と親睦を図る。また、より良い発表を目指す活動の中で、協調的な集団づくりを行い、今後の学校生活に活かせるようにする」ことを目的に実施しました。

学年毎のクラス数の違いにより今年度は連合制(縦割り)を廃止し、自由曲1曲を各クラスで発表しました。唯一深西コーラス大会の経験がある3年生が、難曲に挑戦し迫力と曲想をとらえた素晴らしいハーモニーを響かせました。初体験となる1、2年生はその3年生の背中を追うように短時間で練習を重ね、当日

1日目は深川市文化交流ホール「み・らい」を貸し切り、伝統の応援団による口上などの開祭式で幕をあけ、吹奏楽局演奏、クラス紹介、アピール発表が行われました。2日目は学校で文化系部局の展示、有志発表、抽選会、行灯、閉祭式



学校祭

で幕を閉じました。学年によるクラス数の違いから、今年度は連合制ではなくクラス単位での準備・練習・発表となりました。昨年は中止だったので1年生だけでなく2年生にとっても初の深西学校祭。自分たちの頭で考え、仲間とアイデアを出し合い、練習を繰り返し、練習の成果とそれぞれのクラスカラーを出し合いました。コロナ禍なので無観客で開催、例年駐車場で行っていたアピールは「み・らい」で行い、市街を回っていた行灯はグラウンドを周回して体育館内で点灯しました。花火は中止となりました。本日に異例の学校祭となりましたが、それでも実施できたことは、彼らの高校時代の成長と思い出に不可欠なものになると確信しています。楽しみにしていた保護者や地域の皆さまには、本当日にご迷惑をおかけしました。

2021.07.20 体育祭
マスクをつけての生活にも慣れて、晴天の中でのびのびと体を動かしました。玉入れや綱引きなどを楽しみました。

2021.10.20～23 見学旅行
昨年は2度の延期を経て止む無期中止となったのですが今年度は晴天の中、奈良・和歌山を巡る見学旅行は



行灯行列



体育祭

2021.07.20 フィールドスタディ
住んでいる地域の課題や魅力を知ることが目的に、2年生93人が『Iocussフィールドスタディ』に臨みました。AIが高校生と企業の双方に実施したアンケート結果を分析し、生徒と関心のある企業を結びつける仕組みで進学や就職で都市部に流出しがちな高校生に対し、地元企業にも目を向けてもらう狙いで、市や深川商工会議所などで組織する「次世代人材確保対策協議会」が昨年

緊急事態宣言が明けてすぐの時期ということもあり、見学地に人は少なく、じっくりと見て回ることができませんでした。(19日結団式。薬師寺、奈良公園、東大寺、法隆寺、橋杭岩、熊野那智大社、千段の階段・大門坂を登って那智の滝、パンダに心を癒やされて、三段壁洞窟、関西国際空港から千歳空港にて解団式。)

AIの適性診断で選ばれた市内事業所15社に受け入れていただき、職場体験を行いました。事業所によっては、地域をテーマにしたグループでの意見交換なども準備されており、日常から街作りに対して持っている意見を述べてきました。

2021.11.10 カタリ場
北海道内の大学生が訪れ、1年生と2年生を対象に体育館にて『カタリ場』(NPO法人いききたす)が行われました。テーマに基づいた体験談に耳を傾け、悩みを聞いてもらったことで進路や将来を考える良い機会になりました。

2021.11.16 出前授業
本校にて北海道内の大学や専門学校から来ていただいた講師による授業を1年生と2年生がそれぞれ2つずつ選択して受講しました。



家庭科マナー

学校からの資料提供をいただき大きな行事のみを紹介させていただきました。

復刻版より



昭和23年4月1日新制高等学校として発足。
昭和25年4月1日深川女子高と合併し北海道立深川高等学校となり西校舎、東校舎となる。
昭和28年4月1日東西両校に分離独立。

この年から校報が発行されている。学校にも第一号は保存されていない。綴じられているのは第二号からである。この年着任したのが田村重武校長であるが校報に掲載されている挨拶を転載する。

深川西校報 第二号

昭和28年12月26日発行

学校長 田村重武

赴任以来寄せられた御厚情を感謝致して居ります。校報の出す機会に御理解願いたいことと、考えていることの方角を申し上げて御批判を戴きます。

一つは本校が普通課程の学校であることから、上級学校に進学を希望する生徒のみの学校であるやに考えられやすいこととあります。これは進学するには、職業課程からも進学の道があつても容易ではなく、普通課程から進学するのが通常の筋道であり、昔の中学や普通の高女の性格を私どもの学校が持っているため考えられやすいこととあります。従つて商業とか家庭とかも希望すれば学習し得るのでありますが、職業課程の学校のように勉強したことによつて、裁縫とか調理とか、商業などと言つたすぐ職業人に役立つとする程

の多くの単位を修得し得ないのだと御理解戴きたいと思ひます。本年は家庭科は実施してはいますが商業科に関しては皆無の状態でありました。
来年度は就職希望者のため珠算などを実施する予定で居ります。次に新教育発足以来、生徒の自主性は目覚ましく進展して参りましたが、その裏付けとしての自律に乏しく、生徒であることからの社会の寛容に甘え、年齢的にも視野の狭い偏見から、生徒として、兎に角社会への義務を考えた日常生活を持たず、意志の弱い感情に溺れ放縦とさえ断じられそうな生活を折節見受けられます。
次代日本に民主的活動を期待するこの若人の為、今、延びつつあるよい芽を健全に伸ばし、現代日本の背負う苦難を見事乗り切る意志の固い民主的人間を育成するには一層我々が協力して自律とよい協同を目標に民主への芽生えを根強いものに致したいと存じます。

令和2年度卒業生進路動向

		令和2年度			前年度
		男子	女子	合計	
進 学	国公立大学	4	1	5	4
	市立大学	6	9	15	24
	短期大学	6	11	17	13
	専門学校	13	9	22	30
	高等看護学院	0	5	5	16
	准看護学校	0	0	0	3
	文科省管轄外大学	1	0	1	1
就 職	公務員	3	0	3	3
	民間企業	3	4	7	22
	自営・家業従事	0	0	0	0
	その他・未定	1	1	2	4
	合計	37	40	77	120

母校支援事業

◎ 大会出場激励会



2021年7月5日



2021年8月17日



2021年9月29日



2021年12月8日

懸垂幕2張り追加作成

卒業時、入学時に掲揚していた懸垂幕に引き続き、新たに2張り作成した。

三大行事の「コーラス大会」「学校祭」「体育祭」に掲揚する懸垂幕だが学校祭の前日に間に合い2021（R3）7/9に掲揚された。

私達ひとりひとりが、創りあげるこの瞬間「今、青春爆発中」深川西生徒会

このメッセージの下でコロナにも負けず青春を燃やした。



同時に「祝全国大会出場 おめでとう」陸上競技部 深西同窓会も作成し、陸上競技部の部分は別バージョンと付け替えが可能になっている。



「学びの場の保障」

校長 間

義浩



をおかけしたことを思います。あらためてお詫びし、ご理解に感謝申し上げます。

一方、このような状況にあつてこそ、「学びの場」としての学校の重みが増していると感じています。「正解」が一つとは限らない、あるいはたどりつくことが困難な課題に対して、手がかりや根拠となる知識をもとに自分で考え、仲間と対話し、協働して取り組むことが、学校での学びに求められていることであり、社会でも必要とされている資質だからです。高等学校で令和4年度入学生から学年進行で始まる新学習指導要領では、このことが一層重視されています。また、国際的にも問題となっている気候変動と、その被害を少なくするための緊急対策や、その原因となつている温室効果ガス排出削減のためのエネルギー対策については、国連で5年前に採択された「持続可能な開発目標」いわゆるSDGsの17ある目標に含まれています。このことについても新学習指導要領に取り上げられています。

日頃より本校の諸活動にご理解とご協力・ご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。さて、本校は4月に新入生を迎え、全校244名でスタートしました。また、昨年度は国公立大学に5人進学したほか、私立大学・短大に32人進学しています。さらに、専門学校への進学、公務員・民間企業への就職についてもほぼ全員の進路先が決まりました。これも皆様のお陰と感謝申し上げます。

新学期に入つてからは、新入生と在校生の対面式、部・局紹介が始まり、1年生宿泊研修、本校3大行事のうちコーラス大会及び学校祭と、昨年取りやめとなつた行事を実施してきました。生徒たちからも実施できること自体への喜びの声が聞かれるとともに、深川西高らしく、コーラスや学年、学校全体で協働して真剣に取り組む姿が見られました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症防止対策のためコーラス大会や学校祭では保護者の方を始めとした方々へ公開しないこととする等、例年になく対応をとらせていただいています。保護者の皆様にはご心配

をもちながら、新型コロナウイルス感染症防止対策のためコーラス大会や学校祭では保護者の方を始めとした方々へ公開しないこととする等、例年になく対応をとらせていただいています。保護者の皆様にはご心配

工夫を重ねた学校祭

ダンスやバンド演奏で夏の思い出

深川西高間義浩校長、二百四十四人は十〜十二日までの日程で学校祭を開き、生徒たちが練習を重ねたダンスやバンド演奏を披露した。新型コロナウイルス対策として一般公開せずに行われたが、開催への工夫を続けてきた生徒たちはステージ上で躍動し、クラスメイトとの思い出をつくった。

初日は、応援団や吹奏楽曲の発表に続き、一〜三学年がクラスごとにダンスを披露する「アピール」を開催。生徒たちが踊る校舎駐車場は今年度は混雑を避けるため、文化交流ホール「み・らい」に会場を変更して行った。

トップバッターの三年一組は、



ヒット曲を組み合わせた音楽に合わせて、リズムカールなダンスを披露。続く二年一組のステージは人気音楽番組をモチーフに、クラスメイトと撮影したミュージックビデオを上映し、会場を盛り上げた。

二日目は学校で、バンド演奏や行灯のお披露目もあり、学校祭に華を添えた。

「深西なら」もつとできる「もつとみつかる」

来年度の入試に向け、ポスター作成

来年度の高校入試に向け、深川西高間義浩校長が、同校をPRするポスターを制作し、北空知管内の小中学校や事業所などに配布した。

ポスターのモデルに起用されたのは、今月二十八日から福井県で開催される全国高校総体(インターハイ)に出場する同校陸上部の多田悠理さん(一年)。多田さんが投げた円盤が描く放物線上にキヤッチコピーの「もつとできる もつとみつかる」を配した。

「写真とキヤッチフレーズがぴったり一致した」と総務部長の玉井康夫教諭は笑顔で話す。



同校の卒業生でもある玉井教諭は「深西は入学してから伸びる学校。多くの生徒が勉学で、スポーツで、その能力を開花させている。市外に出なくても、深川で自分の夢をかなえられる。そのことを、まずは地元の子どもたちに知ってほしい」。2021/07/21北空知新聞より一部掲載

同窓の夕べ再中止に…

一昨年開催予定だった第23回の同窓の夕べは新型コロナの為に中止となりました。昨年も状況は好転せず、ワクチン接種は進んだもののいまだに治療薬の開発への見通しがないことから開催を早々に断念しました。従って令和4年に再々延期となり、実行委員長もそのままスライドします。残念ですがご理解ください。今年度は開催されることに希望を持ちたいものです。

各期動向報告

(カッコ内は情報提供者・敬称略)

前号ではコロナ禍に見舞われて情報も更新できていません。有効な治療薬ができていないため今号も大きな制約を受けて同じ事態になつてしまいました。まことに申し訳ありませんが引き続き前号の一部を修正して再掲となりましたことをお許しください。但し、四年に一度しかお送りしていない方もいますのでその方々にはこれでも新しい情報かと思えます。

〔旧中一期〕
先輩も九十六歳の年齢になり、連絡が取れない状況です。自然消滅。

〔旧中二期〕(旧制深中2期会)

平成十四年を最後に同期全員の開催を取りやめとし以後二〜三年ごとに有志で開催していたようですが、さらに高齢になり、開催なし。情報提供者もいない状況です。

〔旧中三期〕(旧制深中第3期同期会)

平成七年卒業五十周年を期して「俺の足音」(B5判128ページ)の記念誌を発刊。十七年には卒業六十周年記念誌「俺の一言」(B5判93ページ)を制作。十九、二十、二十一、二十二も九月札幌にて開催。危ぶまれた二十五年十月開催を最後として区切りをつけた。深川市内の有志は年に一回集まっていたがそれも今は無理な状態です。(利波 清一)

〔旧中四期〕(旧制深中4期生)

平成十五年と二十年 故・中島武敏元代議士を囲んで(ふれあい会館)集まったのが最後。今後の予定もなし。

〔旧中五期〕(旧制深中第5期会)

二十二年六月「喜寿を祝う同期会」を開催。同期生全員に案内するのはこれが最終回でしたが二十三年六月二十日開催。二十四年も六月に開催いたしました。以後高齢の為残念ですが集まりはありません。

〔五期〕

不定期開催。最近開催なし。(南 進)

〔六期〕(西高29会)

代表・永野 慶昭
われらも八十五歳となりました。深川支部は二九会なので毎年六月二十九日に開催して毎年旅行を実施したり昼食会を行っていました。札幌勢は年に六回集まりましたがどうなっているのでしょうか。全体での開催は十七年札幌が最後。(永野 慶昭)

〔七期〕(深西7期同期会)

代表・手島 克
三年毎に旭川、深川、札幌と持ち回りで開催している。十四年深川で開催、板倉に六十人参加。十七年は五十年を札幌にて八月開催、五十人参加。二十年旭川。二十三年九月五日深川で開催。二十六年九月札幌開催。二十七年、二十八年と深川で連続開催。令和元年五月十二日最後の同期会を札幌にて開催三十四名。今後は各地で随時ミニ同期会を開催していく予定。(手島 克)

〔八期〕

不定期開催。二十年六月札幌第一ホテルで開催。高齢となり最後の同期会と言うことで六十五名参加。それ以後は各クラスやグループが少数で開催。二十一年八月深川在住者令和元年九月には札幌で開催した。(清水 義弘)

〔九期〕

代表世話人・仲野 勝利
十年深川・十二年旭川・十四年札幌。

二十八年七月札幌で開催。三十年八月三十日、秩父別ゆう&ゆで開催。(佐藤 豊秀)

〔十四期〕

十六年五月選暦同期会を開催。深川ホテル。二十年二月天人峡パークホテル。二十一年九月十三日深川にて開催。同期生七十八人、恩師三名。二十四年九月十三日札幌支部による発起人で開催。二十七年一月、新年会を札幌で。深川近郊同期昼食会を二十八年五月、九月に開催。首都圏同期会を二十八年十月に開催。(堀川 勝之)

〔十五期〕(深西38会)

代表・菅原 明義
札幌・吉田 裕、檜山 秀紀
以前は五年毎に開催していたが間隔が狭まった。十年は十一月、十五年は札幌で開催。十七年十月九日開催。十九年九月旭川開催。二十一年十月定山溪グランドホテルで開催。六十三名が出席。二十六年に古希の祝いで開催。喜寿は三十一年なので、開催予定です。札幌38会は偶数月に定例懇親会を恩師田中先生を囲み継続開催をしていました。(菅原 明義)

〔十六期〕(深川西高16期卒業同期会)

代表・星野 孟
五年毎に開催。十一年から三年毎の開催にしました。二十年九月開催。二十三年十月十日板倉にて開催しました。次回は二十六年六月二十二日に卒業五十周年で開催。二十九年六月深川にて第十一回同期会を開催。(星野 孟)

〔十七期〕(高17期同期会)

十二年に板倉、十七年八月板倉で開催。四年に一回開催が約束だが二十七年十月に卒業五十周年に当たり前倒し開催。毎年、秩父別にて一泊ゴルフで親交を深めている。(濱田 靖夫)

ぐ延期となる。(梶川 寛)

〔二期〕

代表・広上 和好
十二年卒後三十年で開催。参加六十名(日の出)。二十年八月札幌開催。二十七年深川で開催。(松原 和男)

〔三期〕

代表世話人・坪田 邦光
十三年八月に三十年を記念して札幌にて開催。出席者八十余名。二十四年六月三十日板倉にて卒後四十年を記念して開催。三十年十月二十日に開校八十周年で校庭にアオダモを植樹した。(齋田 光章)

〔四期〕

十四年札幌、十六年六月深川(日の出)にて開催三十五名。十七年六月札幌にて連続開催。二十年六月「まあぶ」にて開催。二十五年十月五日、京王プラザホテルにて卒業四十一年で開催。八十名出席。現在は二年に一回で開催している。札幌で三十年十月二十一日に開催六十八名。翌年の令和元年十一月十六日ミニ同期会開催四十一名。(大平由美子)

〔五期〕

十四年十一月に札幌にて開催七十名参加。二十六年十一月選暦同期会を札幌にて開催。参加者八十名。市内在住の同期会は開催していません。(矢野 正樹)

〔六期〕(49年卒業同期会)

代表・渡辺 純
十六年は卒業三十年で九月札幌にて開催、百名参加。同窓の夕べの実行委員として携わったのを機に同窓の夕べの後に同窓の集まりを持つこととしており、二十六年は二十人が集まり交流しました。二十九年六月二十四日開催。同窓会幹事二十九年まで高瀬昌之、三十〜三十一年度は松野正明が担当。(松野 正明)

〔七期〕(深川西高27期同期会)

代表・竹林 均

を板倉にて開催。四年に一度の開催ですがコロナでできていません。(今西真理子)

〔四期〕

卒業二十年を十四年に深川で開催。

〔五期〕

卒業十五年を十年に深川で開催。(田中 一幸)

〔六期〕(深川西高36回生同期会)

卒業二十年で十六年一月板倉にて開催、九十九名参加。卒業二十五年を二十一年一月に開催。二十三年十月一日に第三回同期会を開催致しました。深川西高校(第三十六期生)掲示板を開設中です。(渡辺 哲男)

〔七期〕

十四年に板倉にて開催。(佐藤 秀樹)

〔八期〕

代表・佐々木
四年に一度の開催で平成三十一年正月に深川で開催。(西口 健一)

〔九期〕

十三年二月、日の出会館で開催参加、四十四名。

〔四一期〕(第41期同期会)

代表・佐藤 之彦
二十一年一月二日に開催。二十五年七月十三日。三十一年一月二日に開催。五十八名。次回は四年後に開催予定。(佐藤 之彦)

〔四二期〕

二十三年一月開催。平成三十一年一月二日開催。四十九名参加。(吉住 仁陽)

〔四三期〕

(日下 大輔)

十五年鎌倉。十六年函館。七年札幌。十八年美唄。十九年六月深川。十月台湾へ修学旅行。二十年には開校七十周年記念に合わせて式典終了後開催。二十一年以降は津田氏が亡くなったため、札幌・平林さんが後を引継ぎ札幌で集っていたが、集まるのが難しくなってきたため二十七年に記念のエッセイ集を二集出版した。

〔一期〕 平成六年岩見沢市、七年滝川市、八年幌新温泉一泊、九年箱根・東京二泊、十年深川市、十一年定山溪温泉、十二年滝川、十三年岩見沢、十四年深川、十五年札幌、十六年滝川、十七年札幌開催を最後に取りやめ、以後開催なし。(倉嶋 克郎)

〔二期〕 (旧制中学7期・深川西高2期の集い) 毎年秋に開催していました。東京、札幌、深川持ち回り。十二年は卒業五十年で札幌、十三年はホテル館、十四年は東京、十五年は札幌、十六年は深川。二十年「喜寿の集い」をもって期友の会を打ち上げました。その後、関東、関西、北海道全域から同志が集まり一泊で温泉旅行を開催二十名参加。令和四年で九十歳。(大久保博夫)

〔三期〕 東京は毎年開催していたが…。札幌も随時開催していたが…。深川は三名、いずれも元氣なし。平成十二年を最後に開催していない。(大鎌 幸雄)

〔四期〕 (深川西校第4期生同期会)

札幌(北斗会)ではなんとか毎月集まって親睦を深め無事を確認し励ましています。十六年札幌は六月、東京・四葉会は一月に開催。十七年は六月札幌、十八年札幌開催。十九年五月定山溪で、卒業五十年で偶然にも五十五名が参加。二十年六月札幌。

十六年北竜。十八年東京。毎年開催の意向を受けて十九年秋に定山溪、小樽。十九年三月深川在住者で開催。二十年九月深川開催。「ゆう&ゆ」に四十七名。二十三年九月四日、沼田ほろしん温泉にて全体の同期会を開催しました。二十四年五月八日、東京方面で三同期会。五月九日市内在住者の三同期会でパークゴルフの会を開催。秋には東京で全体の同期会を開催。二十五年七月十日旭川で開催。二十六年十月十五〜十六日鬼怒川温泉で二十三名参加開催。二十七年は開催しませんでした。毎年北空知・旭川方面在住者で同期会開催、一昨年、昨年に引き続き令和二年九月に予定もコロナ禍に沈む。(倉嶋 克郎)

〔十期〕 (深川西校第十期同期会) 代表世話人・高橋 国雄 十五年六月に四十五周年記念として北広島で開催。二十三年十月二十日定山溪温泉にて五十八名の参加で旧交を温めました。二十六年十月十八〜十九日札幌にて開催。参加者四十五名。三十年七月三〜四日に札幌第一ホテルにて卒業六十周年を最終として開催した。(星野 友雄)

〔十一期〕 十二年八月還暦記念を深川で開催、十六年は八月札幌七十名。十八年十月深川で開催。二十年札幌。二十七年深川で開催。(中井幸太郎)

〔十二期〕 (西高35年卒同期会) 十三年秋、還暦同期会を開催、参加五十八名。十八年小樽にて開催。二十二年六月深川にて開催。

〔十三期〕 (三六会・サボロウ会)

代表・吉川 保 H十年HP開設 M.L(倉山昭男) <http://www2.big.or.jp/~yyc/club/> <http://www.egroups.co.jp/group/36KAI> 十四年六月還暦記念同期会を開催、板倉。二十年開催。二十二年六月秩父別温泉「ゆう&ゆ」で開催。

〔十八期〕 (猪子会・いのね会) 代表世話人・宮岸 徹二 十七年九月札幌にて開催六十名。二十年十月、富士屋にて開催六十名。東京組は随時開催で二十年は九月札幌組は随時集合、深川組は毎年夏冬と二回開催している。二十三年十月十六日札幌にて開催。二十六年七月十二日開催。二十九年七月八日深川開催。以後コロナ禍で自粛中。(深沢 倅子)

〔十九期〕 (深川西高42会) 代表・千葉 憲一 五年に一回の開催。十七年旭岳のふもと湧別温泉で開催。登山も兼ねた。二十年は「ゆう&ゆ」で還暦同期会を十月開催。二十五年九月二十三日北広島にて開催。二十九年五月二十七日北広島にて八十二名の参加で開催。(寺下 良一)

〔二十期〕 (深川西高第20期卒業同期会) 代表・児島 俊一 四年に一回の夏季五輪開催年に合わせて開催しています。十二年六十名参加(深川ホテル)、十六年は八月に開催した。二十年八月深川で開催。東京組は二年毎に開催。二十四年八月四日、深川板倉にて開催、五十九名出席。二十八年八月六日深川開催五十七名。道内在住者の有志で「ふれ愛・語り合いゴルフコンペ」を年三回開催しています。今年八月三日に開催。年末に札幌で直会を開催しています。冬季オリピック開催年には東京で同期会を開催しています。三十年十月に箱根一泊で行いました。(小川 広見)

〔二二期〕 (西高21期同期会) 二十三年八月十三日深川にて開催。四年に一度の開催と決め二十六年九月二十日札幌にて開催。平成三十年九月札幌で開催。令和二年七十歳になるので深川で開催予定も延期につ

十六年一月二日開催し七十四名参加。令和元年六月二十九日 八十八名集合。(館下 孝之)

〔二八期〕 (第28期同期会) 代表・三ツ井隆博 三回目となる同期会を十七年八月板倉にて開催。百名を超える参加あり。五年ごとに開催。第四回目的同期会を二十二年八月札幌にて開催。二十七年八月深川で開催。九十名出席。令和二年予定は延期、さらに今年度も延期。(増永 博志)

〔二九期〕 同期会代表世話人 新井 清一 <http://nshikoymemories.jp/> 同期会開催状況 二〇一八年十一月二十三日 還暦同窓会 ホテルニューオータニイン札幌 次回開催予定、六十五歳になる二〇二三(令和五年)。(幹事・挽地 昌弘)

〔三〇期〕 3組子年会 代表世話人・土田 光子 学年の同期会は無く3組に少数の他の組のメンバーが参加しています。(津田 恭史)

〔三二期〕 (第31期同期会) 卒業二十年を十一年に深川で開催。百十名。卒業三十年を記念して二十一年に出席者八十名で開催。二十六年十月に開催。令和元年八月十日開催六十二名参加。(宮沢 孝司)

〔三三期〕 (代表世話人・外山 定男)

二十四年一月二日、板倉にて二十八年ぶりに八十五名の参加者を得て開催しました。五年経過したので開催の方向です。(三上 貴康)

〔三四期〕 (元気やっこ会)

二十三年八月十三日(第四回)板倉にて開催。二十七年八月(第五回) 代表・紺野 浩治

〔四八期〕 二十三年四月に第一回を板倉にて開催。当初五十名以上の参加申込が東日本震災の被災地支援の関係から消防、自衛隊など関連に勤務しているメンバーが参加できなくなり四十名余の参加となった。(佐藤 貞真)

〔五四期〕 二十三年六月十三日、プランシユネージュに五十人が集合。(及川 賢一)

毎度のことですがご協力頂いた期の幹事の方や世話人の方には大変お世話になっていきます。記載の情報は前年までの情報に新たな情報を追加しただけの二十三年間の積み重ねです。目新しい情報は数箇所しか追加されていません。事務局では記載の期以外は把握できていません。きつと開催しているところもたくさんあるのだからと思えます。情報の収集に努めています、各期の協力者を探し支援を頂きながら、それぞれの期の動向が今以上に判明するように努力していますがなかなか望みがありません。情報をお寄せ頂ければより充実した会報になるのですが…。時代の流れの中で紙媒体の発信には「？」もつきませんが高齢編集者には捨てられないものがあります。ご理解ください。それぞれの期の幹事・連絡者の方には最新の情報を総会の案内の返信欄に記載して頂ければありがたいと思います。ご協力よろしくお願い致します。

同期会開催報告

さんねんですが今号でも昨年引き続き同期会開催報告はお休みしています。次号14号には動向が掲載できるような社会情勢になっている事に期待しています。そろそろ動き出せそうですが予断を許さない状況は続いています。

鉄をも溶かす炎を燃やせ



島 太星さん(平成28年3月卒業) 68期生

歌手、俳優、タレントとして活躍中。
 在学中の2015年、CREATIVE OFFICE CUEとソニーミュージックによる北海道男子限定オーディション番組『アオタガイ学園』(札幌テレビ放送)にて優秀賞に選ばれ、2016年にボーイズグループNORD(ノール)のメンバーとしてデビュー。ソニー・ミュージックエンタテインメントが運営する全国各地の劇団から歌唱に優れた選抜メンバーで結成された男女混合歌唱グループ「Love Harmony's, Inc.(ラブ・ハーモニーズ・インク)」でも活動中。日本人離れした伸びのある

力強い歌声に定評があり、所属するNORDではリードボーカルを務める。

2019年4月より初の単独メイン番組としてSTVラジオ『ぼっぶんランキング』を担当。『全日本歌唱力選手権 歌唱王』(日本テレビ)に出演した際、MCの南原清隆から「ニュースターが現れた」と評されたあたりから全国区での出演が増え始めた。

初の全国区レギュラーとなる『ヒルナンデス!』のシーズンレギュラーに就任した。現在、個人YouTubeチャンネル『たいせいはボク』を開設し、毎週金曜にカバーソングを公開している。

開校80周年記念事業として本校体育館にてNORDの公演を行なった。

多田さんがインターハイ出場 円盤投で全道2位

陸上部の多田悠理(ゆうり、一年)さんが、室蘭市で今月十七日に行われた第七十四回北海道陸上競技選手権の女子円盤投で二位(32m51)に入り、七月二十八日から福井県で開かれる全国高校総体(インターハイ)の出場権を獲得した。

本人、そして部の関係者が考えていた「本声は、前日の砲丸投だった。大会前のランキングは全道五位。全国大会の出場権が与えられる上位六人に入る可能性は十二分にあったが、結果はまさかの八位。右ひざの大けがを乗り越え、さらに前日の悔しさもバネに、高校生活初めての全道大会で自己ベストを更新し、中二の夏以来二年ぶりの全国切符をつかんだ多田さんは「正直、まだ実感がわきません」と初々しい笑顔を見せ、「目標は35m超え。けがと(新型)コロナ(ウイルス)の影響で不完全燃焼だった昨年の分まで頑張りたい」と意欲を燃やす。

深川小時代はバレーボール少年団に所属していたが、深川中入学と同時にFACへ入部。バレーで培った地肩の強さを評価した日高監督が、投てきの練習に専念させると、中二の夏、全道大会の砲丸投で三位に入り、全国切符をつかむ。さらに、その年のジュニアオリンピック

の出場権も獲得していたが、台風の影響で砲丸投など一部競技が中止に。二回目の全国大会は幻に終わった。

不運は続いた。昨年の二月、練習中に右ひざの前十字じん帯を断裂。最後の中体連を控えることから、手術は回避し、装具を付けて練習に取り組んでいたが、その中体連も新型コロナウイルスの影響で、中止が決まる。

二〇一九年の夏、初めて臨んだ全国大会は「周りの選手たちのレベルの高さにびっくりした」一方、「全国の舞台を経験できたことは、大きな自信になった」という。二年ぶり二回目の全国大会に向けては、「今は立ち投げなので、本番までにターンを習得して、記録を伸ばしたい」。長かったリハビリも終わり、体調は万全。「夏の暑さは得意じゃないので、その対策もしっかりやって、大会に臨みたいです」2021/07/03北空知新聞より掲載



初めての高校体連で全道3位 卒業後の夢はプロボクサー

プロボクサーを目指し、たった一人でボクシングに打ち込む男子高校生がいる。三年生の山石翔君(17)が通う深川西高にボクシング部はない。旭川のジムで練習に励み、高校で初出場の大大会となった六月の高体連では、選手層の厚いフライ級(52kg以下)で全道三位。好成績にも、山石君は「試合経験が足りなかった」と悔しさをにじませ、十六日から札幌市で開催される国体北海道予選に挑み、全国への切符を狙う。卒業後はプロになるため、上京するつもりだ。

体を動かすことが好きで、小学生までサッカーを続けた。ボクシングを始めるきっかけは、一巳中に進学して間もなくのころ。夕食時のテレビに映っていた現・世界王者の井上尚弥選手が目についた。世界王者の井上尚弥選手が目に飛び込んできた。圧倒的な強さを誇る、KO劇に「カッコいい」と衝撃を受けた。翌朝、親にボクシングを始めたいことを告げると、週三日のジム通いが始まった。旭川のタキボクシングジムに入会。「拳を交える対戦相手との駆け引きが面白い」とのめり込み、部活動のない深川西

高に入学後もジムに通い続けた。旭川工業ボクシング部の練習にも参加し、汗を流す日もある。



夏の高校野球空知支部予選 6年ぶりの支部予選突破ならず

第百三回全国高校野球選手権北海道大会の空知支部予選は三、四の両日、滝川市営球場で代表決定戦三試合を行った。Bブロックの代表決定戦に進んだ。深川西は延長戦の末、滝川に4-5で逆転サヨナラ負けを喫し、六年ぶりの北大出場はならなかった。

【深川西】細谷一長場
 10000000010100114
 101000000000100215

六年ぶりの北大出場は目の前だった。しかし、あと二アウトが遠かった。「勝つチャンスはあったので、悔いはある。でも、最後の夏に最高の試合をすることができた」。深川西の主将、遠藤拓夢(三年)の目に涙はなかった。

九回、無死一塁から自らの犠打で、同点劇を演出した。それは基本的にバントをしない、打って勝つチーム。でも、ここは走者を二塁に進めなければと思つた。捕手前に慎重に決めたバントが、同級生の寺本蒼一朗(三年)の適時打を呼んだ。

昨秋の支部予選は、初戦でコールド負け。その後、当時のエースを含む主力メンバーが部を離れた。部員十七人、心機一転で臨んだ春の大会は、滝川にサヨナラ負け。どうやってチームをまとめた

級生を相手にする試合よりも、基礎的な技術や体力を養う期間に充てた。二年時は新型コロナウイルスに見舞われ、今年六月の高体連が高校生として初舞台になった。一七三センチの身長とリーチの長さを生かすため、バンタム級から一つ階級を下げて、ラスト三日間で五kgを落とし一カ月で十kgの減量に成功した。減量後は「コンビ二の鮭入りおにぎりがめっちゃうまかった」と振り返った。急激な減量の影響で、2分3Rを戦い抜く体力面の課題の克服が勝利へのカギ。

らと悩んだこともあった。迎えた夏。初戦で公式戦初勝利を挙げたチームは、春のリベンジこそ果たせなかったが、滝川と今支部予選最高の熱戦を演じた。「選手たちはよく頑張った。いいチームになった」と伊藤祐介監督。遠藤ら四人の三年生に対しては「彼らが中心となってチームを引っ張ってくれた。努力をした人間には、結果がついてくる。そういうものだと思っ」



新チームには、延長十四回を投げ切ったエースの細谷小太郎(二年)、強肩とリードが光る捕手の長場夏太(二年)ら一、二年生十三人が残る。「後輩たちにはいい思いをしてほしい。期待していません」。最後の夏を終えた主将は、さわやかに球場を後にした。

育樹の現場から

■シコロと共に生きて

校舎の正面玄関前に西校開校にご尽力のあった宇佐美常次郎氏の胸像が置かれている。宇佐美氏と向かい合って立つと右後方の木々の中に昔は奉安殿があつて、現在、撤去された跡地はこんもりと盛り上がりつつ残っている。像と丘の間あたりにシコロの大木がそびえている。いつごろ植えられたのか記録がないが多分開校当時、奉安殿があつた時から植えられていたのだと想像される。



校舎の正面玄関前に西校開校にご尽力のあった宇佐美常次郎氏の胸像が置かれている。宇佐美氏と向かい合って立つと右後方の木々の中に昔は奉安殿があつて、現在、撤去された跡地はこんもりと盛り上がりつつ残っている。像と丘の間あたりにシコロの大木がそびえている。いつごろ植えられたのか記録がないが多分開校当時、奉安殿があつた時から植えられていたのだと想像される。



校庭の桜も何本があつて花期には見に行くこともあるが、どの木も古木になって余命は幾ばくも無いように見受けられる。この後どのくらいもつのか樹の勢いを見て歩いた。ふと奉安殿の高台から眼前に不思議な光景を見た。手の届かない、およそ2m以上のシコロの二股に桜の花が見える。どう見ても桜だ。樹はシコロだ。目をこするようにして再確認をするが高位置に有るので幻が確信に変わる。

鳥が食べた桜の種が二股に落ちて発芽したまでは想像がつくが、幾度もの春夏秋冬を経て花を咲かせるまでには時間がかかったが本当に実に不思議な光景だった。

■スモモの祠に桜

生徒通用門の東側に真つ白な花を咲かせていたスモモの木があつた。いつから枯れたのか記録が定かではないが、この木の祠に桜の種が芽生えていた。この桜は地面に近いこともあつて大きく育ちスコップの柄のような太さになり花を咲かせるようになった。他の桜と違ってピンクの薄い白っぽさの色合いはスモモの花色を感じる風情だ。

このスモモの枯れ木も良い感じだねじれやふくらみがあつたのでそのまま共存させていたが今回の31日の作業で基部を残して伐採した。大きく育つた桜の木の存在感が増したことはいうまでもない。丁度校庭の桜も古木が多くなってきたので物語性のある仲間が増えたことは嬉しいことだ。

■ツタの絡まる枯れ木

旧校舎の正門の前には車が回しがあつて、現在も当時の面影を少し残している。門の右側にツタの絡まる大きな枯れ木



があつた。昔から枯れ木であつたわけではないので開校当時はさぞ大きな木だったのだろうと思う。いつの頃から枯れたのか記録がないがピサの斜塔のごとく傾いている。強風などで倒壊しては危険なので3月末の作業で伐採した。切ってみればイチイの大木の様でイチイならまだ当分持ち応えそうだと見立てたがツタには申し訳ない気もした。枯れ木には電気の配管が付いている、きつと昔は街灯代わりに使っていたの



かもしれない。ツタごと枯れ木を切ってしまったが夏には元気に繁茂していた。但し、登っていく拠り所を失ってしまったツタはこの先どうやって生きていくのか気になるところでもある。



緑の学び舎運営委員会

《令和3年度・事業報告》

- 1月 本年度の委員会は中止し、例年通りの事業を行う。
- 1月31日 木に親しむための副読本作成。30部 委員に配布
- 3月29日 校庭の処理樹木の下見
- 3月31日 校庭の樹木管理作業。業者に委託
枯木、危険木除去、枝払い
- 4月1日 カラス撃退作戦第1弾
- 4月11日 遊歩道下見
- 5月7日 山道下見
- 5月10日 シコロと共に生きて。共生する桜の木を発見
- 6月10日 学校林点検管理作業
- 6月29日 春季の学校林管理作業
坪田・堀川・岡部・末松・寺下・東・山田・溝口
- 7月20日 カラス撃退作戦第2弾
- 8月11日 湧水下見
- 8月12日 湧水手すり改修
- 9月26日 学校林草刈作業。3名
- 9月27日 嚮田会長現地案内
- 10月9日 秋季の学校林管理作業と卒業記念植樹
嚮田会長、坪田委員長、堀川副委員長、寺前、末松、妻神、石川(幸)、東、石川(雅)、村中、竹林、山田、藤井、溝口
- 10月18日 湧雲の泉の手摺はらず
- 10月25日 秋季追加作業で殺鼠剤散布
- 11月3日 校庭の要保護樹木にピンクテープ
- 11月21日 ツリバナ植栽
- 11月22日 追加の殺鼠剤散布。翌日雪に覆われる。

《令和4年度・事業計画》

- 1月 令和4年度 第1回運営委員会は中止
- 1月 「緑魂は時空を超えて」あれから8年の記録編集作業
- 3月 校庭の危険樹木の整理
- 5月 校庭と同窓会林の春作業
- 5月 「緑魂は時空を超えて」あれから8年の記録集発行
- 5月 記念植樹会場で観桜会 中止かも
- 6月 委員研修
- 7月 同窓会林管理作業
- 7月 湧雲の泉の周辺整備
- 7月 同窓会林内遊歩道現地再調査
- 10月 第13回 75回生の卒業記念植樹 「ナナカマド」
- 10月 校庭と同窓会林の秋の作業
- 11月 委員会反省会



■校庭のカラスのねぐら化強制排除作戦

昨日(2021年3月31日)の作業で校庭はカラスの糞の中を歩いて居ると言うのが実情だった。2020年の春にはこのような現象はなかった。2020年の秋頃から住み着いたのかも知れない。実害がなければ見逃そうと思っただけで、密に止まると体に邪魔になるのか、止まり木にしてはいるクロマツ・アカマツなどを始めとしてチクチクする末葉をちぎっては投げ唾えては投げで地面は末葉で溢れている状態はさすがに我慢も限界に達した。生徒が通る道路上に落ちてはいる糞も道々沿いの歩道も真っ白で生徒た

ちにとつても市民にとつても気持ちのいいものではなさそうなので撃退用のエアガンを用いて排除を試みた。夕刻6時過ぎシコロに止まっている数羽に目がけて連続発射。カラスは即、退散。ねぐらを目掛けて飛んできたカラスも危険を察知して他のカラスに鳴き声の伝言。エアガンを空に向けただけで、飛んできたカラスは上空を飛ぶかコースを急に変更し出した。しばらく待機していたがカラスの気配がなくなつたので帰宅。暗くなつた7時頃に再度見に行くとカラスの姿は確認できなかった。作業によって校庭の樹木の状態が大きく変わったこともあつた。このか、カラスは状況の変化を感じ取つたのかどうか、先日より

寄り付きは少なくなつた気がする。数日は様子を見なければなるまい。カラスにとつて安住のねぐらでないことを教えておかねばならない。毎年、巢も作るようなので事前に撃退しておこう。4月1日からカラスとの戦争が始まつた。この日以来、9カ月も戦いは続いている。後日わかつたのだけれど威嚇射撃しても30分もするとともに戻ってきていた。環境に慣れてきたカラスは一晩中威嚇しなれば時間をかけて戻ってくる。200発入る弾倉をお代わりしたこともあつたが当たつたカラスだけが学習する位のことわかつた。

2022年1月5日から緑色のレーザーポインターを導入した。光線は50mちよい届くのだが予想以上に効果がありそうだ。カラスの習性として夕方になつてねぐらに向かう時には用心の為、直接ねぐらに入らず段階を踏んで入るようだ。なので、ねぐらに入る前にダメージを与えた方が効き目がありそうだ。※その後の経過。いたちごっこが続いたが、カラスにしてみればゆつくり寝られないのはつらいと踏んで夜中と早朝に襲撃した。これは効果抜群。2日ほど続けておまけに近辺でたむろしている個体も襲いまくつたら、現在見かけなくなった。戻ってきたら再攻撃するつもりだが予想以上の効果にほくそえんでいる。10カ月に及ぶ戦いに幕が下りそうだ。

■協力者募集

緑の学び舎運営委員会も発足から14年を経過しました。開校時の古野校長の緑豊かな教育環境への強い思いは、時として止まってしまうようなところもあり、細い流れであつたりしながらかろうじて今日までつないで来たのが本当のところ。現委員は17名ですが決してお若い委員ばかりではなく将来のことを心配するようになりましました。そこそこの基礎も出来たのでこれ以上新規の事業を興さず、1年の仕事量も減らしながら対応していくつもりですが、いづれ限界もきます。そんな訳で新しい若い仲間を求めています。是非一緒に汗を流しましょう。

令和3年度 高野連・高体連・高文連大会の成績結果

<陸上競技部>

・高体連全道大会

女子砲丸投	1-1	多田悠理	10m32	8位(予選10m09)
女子円盤投	1-1	多田悠理	32m51	2位(予選31m28)

インターハイ出場権獲得

・国民体育大会北海道選手選考会

少年B女子砲丸投	1-1	多田悠理	10m13	2位
少年共通女子円盤投	1-1	多田悠理	31m38	5位
少年A女子走幅跳	3-2	菅谷未侑	w5m11 (+2.4)	4位

・北海道陸上競技選手権大会

女子円盤投	1-1	多田悠理	30m77	7位
女子4×400mR		菅谷-今田-一戸-前田	4'35"19	4位

・新人戦全道大会

コロナのため中止

・駅伝全道大会

[女子]

深川西・滝川・岩見沢緑陵・岩見沢東合同チーム	13位
4区(3km)	1-2 宮崎 栞 13'14" 区間14位

<バドミントン部>

・第76回国民体育大会バドミントン競技会北海道予選会

男子シングルス	1回戦	北條李桜(1-1)
---------	-----	-----------

・令和3年全日本ジュニア出場選手選考会(北北海道)

男子ダブルス	8強	佐々木小次郎(2-3)・北條李桜(1-1)
男子シングルス	2回戦	北條李桜(1-1)
	2回戦	佐々木小次郎(2-3)

・第74回北海道バドミントン選手権大会

男子ダブルス	2回戦	佐々木小次郎(2-3)・北條李桜(1-1)
男子シングルス	1回戦	北條李桜(1-1)
	1回戦	佐々木小次郎(2-3)
	1回戦	佐藤虎生(1-2)
女子シングルス	1回戦	太田 栞(2-1)

<卓球部>

女子ダブルス	3位	村中三桜(2-2)・飯島彩花(1-1)
--------	----	---------------------

(全道大会出場)

<硬式テニス部>

・高体連空知支部

男子ダブルス	準優勝	川田俊輝(3-1)・山本浩輔(2-1)
--------	-----	---------------------

*全道大会出場

女子シングルス	第3位	宮川萌花(3-1)
---------	-----	-----------

*全道大会出場

・高体連全道大会

男子ダブルス	1回戦敗退	女子シングルス	1回戦敗退
--------	-------	---------	-------

・国民体育大会北海道予選

男子シングルス 1回戦敗退

・新人戦全道大会

男子団体戦	1回戦敗退
男子シングルス	1回戦敗退
男子ダブルス	1回戦敗退

<写真部>

・高文連空知支部写真部春季研究大会

入選 2-3 高井萌加 「舐めちゃうぞ!!」

・高文連空知支部写真部秋季研究大会 審査会のみ実施

入選 2-2 小原楓加 「つかまっちゃった」

以上2作品 全道大会出品

<美術部>

・高文連空知支部美術展・研究大会=8/25~27(深川市生きがい文化センター)

優秀賞	3-3	田村知也 「未知の領域」(立体)
	2-1	清川春菜 「秘める思い」(油彩)
	2-2	道下 萌 「理想と現実」(油彩)
	2-3	嶋田 結 「優しかった子」(油彩)

……優秀賞4名の作品は全道大会(10/12~13札幌市民ギャラリー)ならびに全道Web展へ出品

<放送局>

・北海道高文連第45回全道高等学校放送発表大会[6/16-19:メディア審査]

ラジオドキュメント部門	入賞せず
創作ラジオドラマ部門	入賞せず
テレビドキュメント部門	入賞せず
研究発表部門	入賞せず

・北海道高文連第44回放送コンテスト[11/18-19:メディア審査]

ビデオメッセージ部門	入賞せず
オーディオメッセージ部門	入賞せず
ビデオCM部門	入賞せず

<図書局>

コロナのため中止

<吹奏楽局>

・北海道吹奏楽コンクール(8/26札幌市)

高校C編成の部 銅賞

・北海道高等学校文化連盟第55回全道高等学校音楽発表大会出場(10/7岩見沢市) 21校中14位

<弓道部>

・北海道高等学校弓道選抜大会北海道大会(10/8~9芦別市)

女子個人戦 3位 吉田和暖(1-1)

どろやまぎ

(編集後記)

▼投げ出した途端に元気回復、何事もなかったかのように活動開始の人。議論のかみ合わない一方通行のとぼけた人。等々、何となく納得しがたい不誠実な政治が続いていましたが、漸くまともな話ができる政権が発足したような気がします。相対する党もどうかと言えれば非難しかできないと言われ続けて意気消沈気味でチエック機能も満足に果たせない状態。特定地域で伸長した党も全国規模ともならず今一、力及ばず。悩める頑固一徹の党は、党名が世界で評判が悪い国とイメージが重なって最悪。あちらを見ても、清新で聡明な指導者が待たれる。と、愚痴をこぼす老境の日々です。

▼巡りあわせとは自分の力ではどうしようもなく、只々空しさを感じるこの2年間で。教育現場での教師や生徒の苦悩は想像以上だったと思いますが、事実を受け止め目の前の事に対応していく必要があります。知恵を出し合ひながら学生生活を送っていくのです。これといって力になることもできず、「大変ですなえ」としか言いようがありません。

▼今号も「コロナ禍」で覆われてしまいました。そんな中でも卒業記念植樹が晴天の中で開催できたことは同窓会としては本当に嬉しいことでした。七名しか参加できませんでしたが生徒数も少なくなってきたことから、学校林を有効活用している他校の例を参考に体験授業ができたらしいのには考えるのは私だけでしょうか。考えてはいるんですが……。

▼残された時間が少なくなってきたと思うこのごろ、好き勝手にやらせていただいていた手刷りの会報を含めて二十三年になります紙媒体からの脱却の時期にきています。十五号が一応の目安です。以後はこれから新しい情報伝達手段に変わっていくために若い世代の力を借りなければなりません。ただ、お若い世代の中に見られるのは「同窓の意識」の希薄さです。同期会やクラス会も縁遠くなっています。人と人のつながりが薄くなって来ています。この難題にコロナ禍が加わって一層同窓会の運営が難しくな

なっています。

▼令和4年度はコロナの行方と、参議院選、北海道ですから日本ハムの新庄の動向や大谷君の活躍が気になります。間近に迫る大災害も密かに気になる所です。

情報発信委員会
(溝口信義・記)(18期)

【お知らせとお願い】

※資料収集のお願い。毎度のことですが古い資料を探しています。終活の断捨離で経験していることですが生きていくうちに捨てられない資料も残された家族にとってはゴミです。こうして貴重な資料も散逸して確保が困難になります。百年を目前にしてご提供いただけるものがあれば是非お願いいたします。お借りできるものはコピーをしてお返しいたします。

※創立五周年・復刻版

昭和23年7月20日発行
(A5判134ページ)

※十周年記念誌・復刻版

昭和18年4月25日発行
(A5判41ページ)

※創立20周年記念誌

昭和33年9月6日発行
(B5判102ページ)

※緑の学舎連営委員会 五周年記録史「緑魂は時空を超えて」

残部十部ほどになりました。ご協力いただければうれしいです。ご協力いただける154ページほとんどカラー(A4判)

※校歌・学生の歌・逍遙歌のCD

CDは卒業生へ記念品として贈呈しています。

※第60回全道校コーラス大会の記念DVD

記念DVDは全校生徒に記念品として贈呈しています。

※緑の系譜2019

「緑魂は時空を超えて」ブルーレイ映像はきれいですよ。在庫が少々

いずれも同窓生の皆さんの中で入手希望の方が居られましたら郵便振込にてお申込みいただければ送料込みの一、〇〇〇円にて頒布いたします。

入手希望の方は左記口座に郵便振込にてお申込みください。

口座番号は0277012145435
加入者名・北海道深川西高等学校同窓会